

農地賃借料情報

令和5年1月から令和5年12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a当たり)は右表のとおりです。

算出条件

- 1 データ数は集計に用いた筆数です。
- 2 賃借料を何俵相当額(水稻)／10a当たりとしている場合は、60kg当たり10,800円に換算しています。
- 3 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。
- 4 「(参考)市平均」の平均額は、各区分の平均値(四捨五入前)をデータ数により加重平均した値です。
- 5 田の実勢借地料は、工事費は貸人、水利費等は借人が負担するものとして集計しています。

【問い合わせ先】 農業委員会事務局
電話42-2111 (内線575)

■田(水稻)の部

地 域 名		平均額	最高額	最低額	データ数
木造地区	旧 町	20,400円	21,900円	10,000円	86
	川 除	20,300円	27,000円	10,800円	33
	出 精	21,800円	31,200円	10,800円	284
	柴 田	21,400円	27,000円	7,200円	221
	越 水	20,700円	27,000円	10,000円	184
	館 岡	21,300円	27,000円	7,500円	194
	出 来 島	23,800円	28,000円	13,000円	25
森 田 地 区		16,300円	21,900円	5,000円	126
柏 地 区		22,200円	32,900円	10,800円	124
稲 垣 地 区		26,000円	33,000円	10,800円	331
車 力 地 区		20,900円	27,000円	10,500円	103
(参考)市平均		21,900円			計1,711

■畑の部

区分(市全域)	平均額	最高額	最低額	データ数
普 通 畑	8,300円	12,000円	2,800円	44
樹 園 地	7,100円	10,000円	5,000円	19

農作業等標準額

令和6年度の農作業等標準額を設定しましたので、農業経営の参考としてお役立てください。金額については、1日8時間労働で、いずれも賄い無しの基準としています。(単位:円／10a)

■農作業賃金(1日当たり)

水田および畑等一般作業:7,200円 剪定作業:10,000円 草刈り(草刈機持込、燃料代含まず):10,000円

■請負料金(税込み)

- 1 畑耕起:トラクター1回3,600円(2回5,100円)、プラウ3,100円、トレンチャー・長いも34,700円、トレンチャー・ごぼう100m当たり3,100円※プラウ耕起および重粘土・湿地・距離等により割増し
- 2 りんご園耕起:トラクター1回4,100円(2回7,200円)
- 3 レーザーレベラー:14,300円～20,400円
- 4 肥料散布:1種類600円
- 5 水田耕起:4,600円※標準深耕を10cmとし、深耕・重粘土・超湿地の場合割増し。パワースクプラウも同じ
- 6 水田荒かき(2回):3,600円
- 7 水田代かき(2回):4,100円
- 8 水田の耕起から代かきまで(水管理含む):11,500円
- 9 田植機:苗なし5,700円、苗付き24,000円(苗運搬なし)※側条植えは割増し
- 10 コンバイン(粃の運搬含む):結束なし11,500円、結束あり13,800円(糸付)
- 11 米の乾燥・調整:60kg当たり1,600円
- 12 わら収集:ペーラ4,100円(糸付)、レーキ1,100円
- 13 畦塗り:片道100m当たり2,600円
- 14 マルチング:普通うね200m当たり1,600円、高うね200m当たり2,600円
- 15 心土破砕機(サブソイラー):100m当たり500円(標準深耕40cm)
- 16 みぞ堀機(明渠):100m当たり2,100円
- 17 農薬散布(農薬代含まず):ヘリコプター使用の場合1,100円、ブームスプレーヤーの場合1,000円
- 18 麦:播種(ロータリー式、耕起含む)3,100円、刈取り6,200円、乾燥・調整60kg当たり1,700円
- 19 大豆:播種1,600円、除草剤散布1,000円、中耕・培土1,300円、刈取り6,700円、乾燥・調整60kg当たり1,600円
- 20 農業用機械の運転:1日当たり8,200円

・[参考]青森県最低賃金時給898円(令和5年10月改定)
・燃料費の高騰など、著しい経費の変動があった場合には当事者間で十分に協議し決定してください。
・無い項目は、双方で協議してください。

【問い合わせ先】

農業委員会事務局 電話42-2111(内線571)

こんにちは！ 地域おこし協力隊です

市に移住し、ヨソモノ・ワカモノの斬新な視点で地域おこしに取り組む隊員たちが、市の魅力や日々の活動などを報告します。

成田 久美子 隊員

こんにちは。つがる市に移住して9カ月を迎えました成田久美子です。恐れていたつがるの冬を、今じつじつとくみしめているところです。地域おこし協力隊でのミッションは、夫婦で「新規就農」（米農家）であり、この時期はまさに農閑期です。地域の農家さんの元へいろいろなお話を聞きに行き勉強させていただいたり、来年度の就農業務についての計画を立てたりと、農作業自体はないものの充実した日々を過ごしております。

去年の5月に移住し、何も分からないまますぐに始まった田植え。私は苗運びと苗箱の洗浄を誰よりも頑張りました！猛暑だった夏はひたすら草刈り。ホットヨガ時代よりも汗をかきました（笑）。そして、秋には収穫。初めてのダンブ運転も、農家の皆さんにとつては貴重な体験であり、今後の大事な練習になりました。微力ではありましたが、こうやって自分が大切に育てたお米を無事に収穫でき、実家の両親や大切な方々にお届けすることができたことは、本当に幸せなことです。食べてくださった方「おいしかったよー！」「独立したら販売してちょうだいねー」などのお声は、今後の励みになり、また今年も頑張ろうという気持ちにさせてくれました。

つがる市の皆さんの心身の健康のためのヨガ活動も楽しく行うことができています。前回の広報を見てご連絡いただいたお客様



女性農家の会でヨガイベントを開催しました！

に、オンラインでヨガレッスンを行ったり、クリニックにて仕事後のスタッフの方々にヨガレッスンをしたりしました。また、農作業がひと段落した時期には、女性農家の会（KOS）のイベントでヨガレッスンを開催させていただきました。

自分たちの農作業ももちろんですが、周りの農家さんの心身のリフレッシュやメンテナスなどにもお役に立てるような日々を過ごして行けたらと思っています。

Instagram（QRコード）で地域おこし協力隊の活動、ヨガ活動、愛犬散歩を発信中です。ぜひ見ていただくとうれしいです！



地域計画（人・農地プラン）地域座談会を開催

「人・農地プラン」とは、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」について、5年後、10年後、誰がどのように農地を使って農業を進めていくのかを、地区の話し合いに基づいて作成していくものです。

そして、人・農地プランをさらに踏み込んでいき、地域の皆さんが守り続けてきた農地を次の世代に確実に引き継いでいくために、地区の話し合いの場で農業従事者や農業関係者から幅広い意見を取り入れながら協議していくものが「地域計画」となります。

このことを踏まえ、地域計画（人・農地プラン）地域座談会を各地区ごとに開催します。参加をご希望の方は2月19日（月）までにお申し込みください。皆さまの積極的なご参加をよろしくお願いします。

開催日時	場所	対象地域（お住まい）
2月26日（月） 18時～	木造農村環境改善センター大会議室	木造地区
2月27日（火） 18時～	森田農村環境改善センター多目的ホール	森田地区
2月28日（水） 18時～	柏農村環境改善センター多目的ホール	柏地区
2月29日（木） 18時～	稲垣交流センター多目的ホール	稲垣地区
3月1日（金） 18時～	北消防署2階会議室	車力地区

【問い合わせ先】 農林水産課 電話42-2111（内線412）